

研究課題：腕頭動脈による気管圧排に関する画像評価の検討

1. 研究の目的

当院では重症心身障害児の方々をはじめ、呼吸の補助が必要な方々にも関係各科と相談をしながら、気管切開術や喉頭気管分離術などの適応を検討し、積極的に行っております。

これらの手術で考えられる、重篤な合併症の一つに腕頭動脈気管瘻、というものが 있습니다。発症すると気管内へ大量の出血が起こり、大量出血、あるいは窒息により致命的になり得る合併症です。

その危険性の評価に、腕頭動脈による気管の圧排所見があるかどうかを検討することがありますが、実際にはその圧排がどの程度あるのか、どのようになったら危険と判断するのか、という明確な基準はありません。今回私たちは過去の症例を遡って検討し、これらの圧排所見を画像で評価する方法を検討したいと考えております。

2. 研究の方法

当院で過去(2010年～2020年)に気管切開、または喉頭気管分離を受けた患者で、CT画像が撮影されている方を抽出。気管と腕頭動脈が交差する部分を3Dで再構築し、気管の圧排所見の定量化ができるかを検討します。

3. 研究期間

研究承認日～2022年3月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

上記に該当する患者様の手術画像・検査データ等を参照し、データとして解析させていただきます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究成果が出ましたら、学術集会や論文雑誌等でご報告させていただきます。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2021年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）